

はじめに

近年の社会情勢は、人口減少や少子高齢化、経済不況など急激に変化しており、奥多摩町においても少子高齢化が急速に進み、高齢者の割合が50%に迫る勢いとなりつつあり、今後、地域住民からの福祉ニーズはますます多様化・複雑化されることが考えられます。

このような中、当法人では、平成17年3月に策定した第2期の地域福祉活動計画「やまびこ計画 やすらぎ・ふれあい・おもいやりのあるまち 奥多摩」の評価を踏まえ、町内の様々な分野の方々からなる策定委員会による検討の結果、今後10年の地域福祉の指針となる第3期の地域福祉活動計画を策定することができました。

この計画では、町の策定する第5期長期総合計画を踏まえ、地域保健福祉計画と連携し、「どこに住んでいても福祉の手が行きとどいたまち」「住民一人ひとりがボランティア精神で活動するまち」「住民と行政が一体となってつくる福祉のまち」を基本理念に定め、「福祉のネットワークづくり」「安心できる日常生活の支援」「ボランティア活動の推進」を基本目標に、住民主体の福祉のまちづくりを実践するため、行政や関係機関、団体、そして住民皆様と協働し、地域福祉を展開してまいりたいと考えています。

終わりに、計画策定に際し、御多忙にもかかわらず、熱心にご検討をいただいた策定委員の皆様及び、アンケート調査やヒアリングで貴重なご意見をお寄せいただいた住民の皆様には、深く感謝を申し上げます。

また、計画実施にあたっては、さらなるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

平成28年3月

社会福祉法人奥多摩町社会福祉協議会

会長 小澤 春義